

## 水上オートバイの事故は調べてみたら、こんなことが分かりました。

水上オートバイ事故は **86.5%**について死亡者・行方不明者・負傷者が発生していました。これは水上オートバイが関与しないその他の船舶事故と比べて死傷者等の発生率が約 3.5 倍となっています。※運輸安全委員会が調査対象とした平成 21～26 年発生分による  
主な特徴や事故防止へのお願いは以下のとおりです。

※詳細はこちらをご覧ください。[http://www.mlit.go.jp/jtsb/bunseki-kankoubutu/jtsbdigests/jtsbdigests\\_No17.html](http://www.mlit.go.jp/jtsb/bunseki-kankoubutu/jtsbdigests/jtsbdigests_No17.html)

### 1 操縦者より、遊泳者、同乗者、搭乗者の死傷が多い

事故による死傷は楽しいレジャーを一瞬のうちに台無しにし、死傷された方の生活を一変させてしまいます。水上オートバイが単独で運航中では、操縦者よりも同乗者・搭乗者の死傷は約 3 倍です。安全運航を再認識しましょう。

### 2 周囲の見張りをしっかりと。船間距離を十分に

仲間同士での並走や追走などから衝突や落水者との接触に至るケースがあります。また、トーイングを楽しむときには他の船や障害物の近くで旋回しないようにしましょう。

### 3 急加速、急旋回での落水が事故につながります

操縦者は発進、加速、旋回をする際の声掛け・合図などを行い、同乗者やトーイング遊具搭乗者への安全に十分配慮しましょう。

### 4 無資格では操縦できません！操縦させてもいけません！

水上オートバイは有資格者による操縦が必要です。所有者が無資格者の操縦を容認しているケースもあります。法令遵守で安全運航を徹底しましょう。

#### ルールを守って安全運航を！

イラスト提供：NPO 法人 パーソナルウォータークラフト安全協会



飲酒して操縦しない



遊泳者の危険にならない



無資格者に操縦させない



危険な操縦をしない



救命胴衣の着用は義務

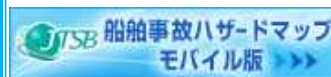
操縦者は船長としての自覚を持ち、遊泳者、同乗者、トーイング遊具搭乗者の安全に十分配慮しましょう。

同じ水面を利用する業務船や周囲に暮らす方々へ配慮し、節度あるスマートな操縦を心がけて楽しみましょう。



<http://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/>

～地図から探せる事故と  
リスクと安全情報～



<http://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/mobile/mobile.html>

